

土のにおいがする生活！ 食べること・生きることの大切さを！

## ～2025 ながおかワーク&ライフセミナー第4講座報告～

1月16日（木）午後3時より、アオーレ長岡 市民交流ホールAにて「2025 ながおかワーク&ライフセミナー第4講座」として、『土を喰らう十二月』の映画鑑賞会が開催され、90名が参加しました。



### ながおかワーク&ライフセミナー第4講座

第4講座は長岡アジア映画祭実行委員会の企画・開催によるもので、冒頭、実行委員会の菅野さんが「寒い中お集まりいただきありがとうございます。本日の映画は、沢田研二さん主演の料理をテーマにした作品です」と挨拶しました。

続いて、主催者を代表し、長岡地区労福協の松嶋副会長が「長岡地区労福協は、地域の労働者福祉や高齢者福祉の向上、安心・共生社会の実現を目指し、生活者の目線につながりを深めるためにセミナーを開催しています。今後も第5講座、第6講座、第7講座と続きますので、ぜひお楽しみください」と挨拶しました。

映画『土を喰らう十二月』は、作家・

水上勉さんの料理エッセイを原作とし、中江監督が演出を手掛けました。本作は、私たちが忘れかけている“土のにおいがする生活”を思い起こさせ、人としての豊かな生き方を伝える内容となっています。

物語は、長野県の山荘で暮らす、高齢の主人公を中心に展開されます。彼は妻に先立たれながらも、四季折々の野菜や自然の恵みを活かし、料理家・土井善晴さん監修のもと、丁寧に食事を作る日々を送ります。その姿は、土に根差した暮らしの原点を思い起こさせ、食べることの大切さや食材への感謝の心を強く感じさせるものでした。

ヒロイン役の松たか子さんは、出版社の編集委員として登場し、主人公の作る料理を美味しそうに頬張る姿が印象的でした。また、火野正平さんは大工として主人公を支える役どころを演じ、実力派俳優陣が作品を盛り上げました。さらに、亡くなった妻の母親役として奈良岡朋子さんが出演し、地域に寄り添いながらの一人暮らしを味わい深く演じました。

映画には、旬の野菜をふんだんに使った料理が登場し、目も心も満たされる内容となっていました。ほうれん草の胡麻和えや収穫したばかりの筍の煮込みなど、見ていだけで食欲をそそられる料理の数々がスクリーンを彩りました。

料理家・土井善晴さんのこだわりが随所に生かされ、主演の沢田研二さんが実際に料理を作るシーンを通じて、“食べること”や“生きること”、さらには“死生観”について考えさせられる作品でした。美しい長野の四季折々の風景とともに、一年の暮らしがあつという間に過ぎていく様子が描かれ、深い感銘を受けました。

最後に、松嶋副会長の閉会挨拶をもって、セミナーは終了しました。

また、会場入口では食品を持ち寄る、フードドライブを行いました。多くの食品の寄贈があり、フードバンクながおかに寄贈しました。

**圧倒的な存在感で  
沢田研二が体現する  
豊かな生き方**

長野の山荘で暮らす作家のツトム、山の実やきのこを探り、畑で育てた野菜を自ら料理し、季節の移ろいを感じながら原稿に向き合う日々を送っている。時折、編集者で恋人の真知子か、東京から訪ねてくる、食いしん坊の真知子と旬のものを料理して一緒に食べるのは、楽しく格別な時間。悠々自適に暮らすツトムだが、13年前に亡くなった妻の遺骨を墓に納められずにいる…。

1978年に水上勉が記した料理エッセイから、中江裕司監督が物語を紡ぎだした本作は、人々がいつか忘れてしまった土の匂いのする生活を思い起こさせ、人としての豊かな生き方を教えてくれる。主演の沢田研二は、物語を凌駕する圧倒的な存在感を見せる。映画を見終わったとき、観客はツトムと十二月を体験したことに気づくはずだ。

**四季の恵みに感謝し、  
十二月を生きた。**

**土井善晴が  
料理を手掛けた  
初めての映画**

目も心も満たして頂ける旬の野菜で作る料理の数々。ほうれん草の胡麻和え、若竹煮、胡麻豆腐など、ツトムが寺で覚えた料理を具現化したのは、料理研究家の土井善晴。初の映画参加となった。撮影前に勉強し、実際にスタッフが畑で育て収穫した食材を使用。四季を撮るために日本映画では異例の一年六ヶ月にわたる撮影を敢行するなど、“土を喰らう”という本質に徹底的にこだわった。劇中の料理の多くは土井の指導の下、沢田自身が実際に作っている。

**松たか子、火野正平、奈良岡朋子ほか、  
脳を固める実力派**

ヒロインの真知子には松たか子。料理をほおぼる妻とチャームアップな魅力を十二分に発揮。脳を固めたのは、実力派俳優の火野正平、檀ふみ、西田尚美、尾美としのり。また、演劇界の重鎮・奈良岡朋子が義母を演じ、落語家の蘆川麗人が映画初出演。信州の美しい自然と共に全編に流れるジャズは「花束みたいな恋をした」などの大友良英が担当している。

ながおかわーク&ライフセミナー第4講座 一月十六日(木)十五時から  
映画上映 「土を喰らう十二月」(上映時間110分)

**参加費無料** 長岡ワーク&ライフセミナー主催団体 : 長岡地区労働者福祉協議会  
**定員100人** 開催団体: 長岡アジア映画祭実行委員会!  
**(申込み先着順)** 共催 (公財) 新潟ろうきん福祉財団・(一社) 新潟県労働者福祉協議会

この事業は公益財団法人新潟ろうきん福祉財団の公益支出事業を主たる財源として開催します。  
フードバンクながおかに寄贈できる家庭に眠る食品等を1品お持ちください。

**問い合わせ** 長岡地区労働者福祉協議会 事務局 連合中越地域協議会  
**申し込み先** TEL 0258-86-0111 (平日:9:00~17:00)  
FAX 0258-86-0884 申込みはこちらから→  
メール nagaokarouhukuyou@gmail.com (Googleフォーム)

